

# あかまちのまじ

第九十号 二〇〇三年一月一日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡所 番六三―三七八七

## 謹賀新年

深町町内会連合会  
会長 梶谷和伸



新年明けましておめでとうございませう。町内の皆様には、明るく希望に満ちた平成十四年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

ご存知の様に、昨年世界では大きな出来事が多くありました。中でも九月十一日ニューヨークで起きたビン・ラディンを首謀者とした、かつての想像を絶する規模の同時多発テロ事件と、そのテロ組織撲滅を画すアメリカを中心とした全世界を挙げての作戦がアフガニスタンに展開されています。

また、国内では不況(デフレ)の中で、構造改革の目標を掲げた小泉内閣が発足し、景気回復にも努めました。同時多発テロによるアメリカをはじめ、世界各国の景気低下というマイナ

特に市民体育大会では、昨年(十二年)は得点二点差でBクラス昇格を逃してしまいましたが、今年はBクラス入りを達成しました。これは深町町内の皆様の活力の向上の現れであると思われ、皆様と共に喜びたいと思

います。しかし一部の意見として「町民運動会をリハールサル(選手選考)として実施して、市民体育大会では是非でもBクラスを死守すべきだ」との声が聞かれます。皆さんの大勢の参加をもって(勝ち負けを考えず)町民の交流の場として、拡大発展させていくべきもと考えております。今年も引き続き、明るく住みよい地域づくりに向けて努力したいと思っております。私たちが住むこの深町をより愛して頂き、その気持ちの具現として、町内会諸行事へより多くの方々

の積極的な参加とご協力を頂きます様お願い致します。皆様のご健康とご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶と致します。

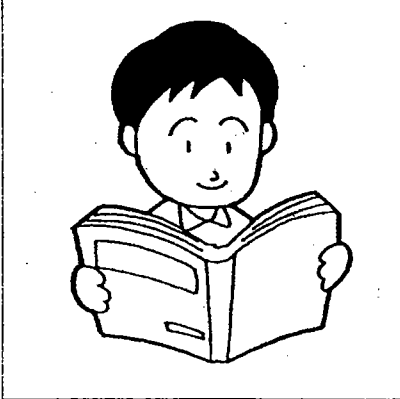
## 読書のススメ

夢をふくらませ、心豊かに

深小校長 瀧畑三代子

子どもは、お話を聞いたり読んでもらったりすることが大好きです。朝会や図書の時間を得て、絵本の読み聞かせをする時、子ども達の目が、耳が、心が、ぐっぐくと近づいて来るのを感じます。幼い時によい本との出会いを経験した子どもは、本が大好きになり、本を自分で読んで、この時が、本好きになるチャン

さだめた経験をおもちでしょう。また、この時が、本好きになるチャン



今からでも遅くはありません。学校を始め家庭でもよい読書の習慣をつけたいものです。深小学校では、本との出会いを子ども達にと、朝の読書の時間を設けています。

低学年は、昔話を中心とした民話が好きです。「むかし、むかし、あるところに」で始まる日本古来の語り口で、鬼が出て来たり長者が出て来たりするおなじみのお話です。その国や地方の人々の生き方や考え、感じ方や暮らしが伝わ

遠のベストセラーです。こうした人の生き方に接し、自分の将来像に重ね、夢を育んでいきます。また、最近の絵本は美しく、私たち大人が読んでも楽しくな



※ライオン号(移動図書館) 学校の体育館前に十二時から一時半までたくさんの本を積んで来られます。一人五冊まで次のライオン号が来るまで借りる事ができます。今度来校日は三月一日です。広報一みはらでお知らせしてあります。

### 深町各種団体一月行事予定

- ◆小学校(幼)
  - ▲始業式 七
  - ▲体位測定(高・幼) 一〇
  - ▲同(低) 一〇
  - ▲里芋ほり(幼) 一七
  - ▲吹奏楽演奏(清水小学校吹奏楽部) 一八
  - ▲新春ふれあい広場 二〇
  - ▲生涯学習(福山予定) 二六
  - ▲参観日(幼) 二九
  - ▲子ども美展作品搬入 三〇
- ◆消防団
  - ▲出初式 六
- ◆女性会
  - ▲親睦会 上組 一六
  - ▲同 中組 一七
  - ▲同 下組 一八
  - ▲新年宴会 二〇
- ◆尚寿会
  - ▲新年宴会(福山予定) 一七



皇太子夫妻の第一子が女の子さんで、昨年十二月七日「敬宮愛子」と命名されました。その道専門の三人が知恵を絞って選んだ文字、クレームを付ける一分の隙もないでしょう。愛子様ですから女の子のお子さんであることは確かです。覚え易いし、日常よく使われていた漢字だけに、親しみもありません。▼高村 夏生(たかむら かおる)桐野 夏生(きのの なつお)この二人いずれも作家で、日頃よく耳にする人で、男性とばかり思っていました。月刊誌に載せられた写真を見てびっくり。奇麗な女性でした。同じ女性作家でも山崎豊子となれば、男性的筆致でも描いた一つ「不毛地帯」を読んでも、男性と間違えることは先

ずありません。▼男女差や人種差を認めないのが米国や西諸国ですが、「鉄の宰相」サッチャーさんに代表されるように、その切れ味はかつての着物文化が尾を引く日本とは一味違う風格があります。一言で言えば男性と同等に渡り合える実力が備わっているという事。▼第二次大戦後、日本も女性参政権が認められ、権利としても一般化しましたが、欧米とはまだ相当な格差があるようです。それを埋めるには「実力武装」することが第一。「内一人は女性とすること」という規約。内規は力のある女性にとっては屈辱そのもの。過保護は女性や子どもにとって長期的にはマイナスでしょう。

# 深町歴史散策

(15)

## 深小学校

高崎 壽郎

明治四十二年(一九〇九)三月現在地に校舎を新築した。四番目の学校で、児童数は一五〇人の三学級、先生は校長と訓導(現教諭)の三人で、校長学級担任兼務だった。

一・二年、三・四年、五・六年の複式授業。

教科は、修身、国語、算術、日本歴史、地理、理科、図画工作、体操、唱歌だった。修身は今の道徳。唱歌は今の音楽で、歌ばかり歌っていた。

学校令とか学校教育法により名称なども時代と共に変わっていった。

明治四〇年(一九〇七)義務教育六年に。

大正十一年(一九二二)深尋常高等小学校になる。

昭和十六年(一九四一)深田村立深国民学校と改称。

同年十二月八日、太平洋戦争へ突入で、児童も国民の一人として協力する戦時体制になった。

昭和十九年(一九四四)九月、大阪市立海老江東国民学校より、六年生三七名が集団疎開で来村。

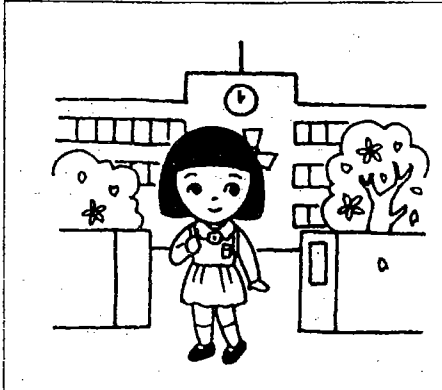
昭和二十年(一九四五)四月同二・四年集団疎開。

昭和二十二年(一九四七)深田村立深小学校になる。

高等科は深田村立深田中学校へ。

昭和二十六年(一九五一)三原市へ合併し、校名も三原市立深小学校になり現在に至る。

中学生は、三原市立第二中学校へ通学。



それ以降は、昭和二十七年(一九五二)深幼稚園開設。

昭和二十九年(一九五四)

木造二階建校舎新築。町内から沢山植木をもらう。

昭和五三年(一九七八)屋内運動場を新築。

昭和五六年(一九八一)現在の校舎を新築。

昭和五九年(一九八四)プール新設。

と、学校の施設、設備の充実に努めてきた。

平成十三年十二月一日現在、児童数は七八名の六学級だが、昭和十一年(一九三六)には児童数は今でも最高の一八七名だった。複式授業も何回も経験したが、もう当分はないだろう。

深の小学校は約一三〇年の歴史がある。これからも、緑に囲まれた静かな自然と、学校、家庭、地域がしっかりと連携した恵まれた教育環境のもとで、身心共に健全な児童を育てていきたい。

### 吹奏楽へのお誘い

深小学校

「よい音楽を子どもたちに聴かせたい。できれば生演奏がよい。」との願いがかないました。お隣の如水館中学、高等学校吹奏楽部の演奏を聴かせてもらえ、ことになりました。

せ、かくの機会です。時間のご都合のつく方は、ご一緒にどうぞでしょうか。ご案内申し上げます。

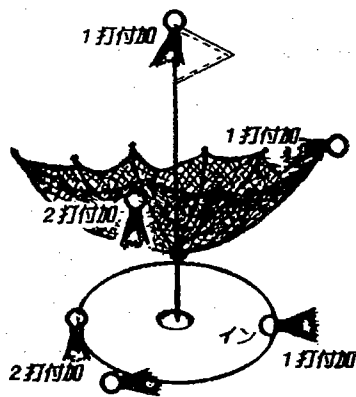
一、日時 平成十四年一月十八日(金) 午前十時四〇分から約一時間

二、場所 深小学校 体育館

三、出演 如水館中学、高等学校吹奏楽部のみならず

※第四十四回(平成十三年度)広島県吹奏楽コンクールA部門金賞受賞 (三年連続)

本校卒業生 成末 香里さん(高二) 高田三保子さん(高二)



十二月二日(日)市教委の主催により、快晴無風の三原市運動公園にて開催。

深町チーム(梶谷和伸、西本一三三、高崎修)は、合計打数二三五で一位と四打差の二位となった。飛ばし屋の二人は曲ったコースのカイプの先を狙う冒険をする等で惜しくも優勝を逃した。

西本氏はスコア七四で個人の部銅メダルを獲得した。

### 町内会連合会活動報告

ターゲットパードゴルフ 団体準優勝 個人銅メダル

競技のやり方 距離三〇、五〇米のコースの先にある雨傘を逆さまにした形の網に、羽根のついた球をゴルフの金のクラブで打ち、三回でいれるのが標準スコア。

コースからそれたり(OB)網の下の円形の枠にしか入らない場合には、罰打(ペナルティ)が付加される。打数の少ない方が勝ち。一八ホール制。(事務局)

この中では、問題行動は勿論、登下校の態度、服装等学校生活全般について現状が詳しく報告されました。

当然のことながら、問題行動する者が全て悪ではなく、授業を抜け出る者が全て悪ではない。「問題行動はどこかで先生の言葉かけを待っている証し。」とか、また「授業が解からない故に、どうしても教室に居ずらくなっている。」等、子どもの側にあった意見も合わせて報告されました。

中略

この「教育問題協議会」を二中支援委員会と位置づけ、各自がそれぞれ活動するための役割分担を決めて日程調整に入りました。略

### 中国朝鮮航路の思い出

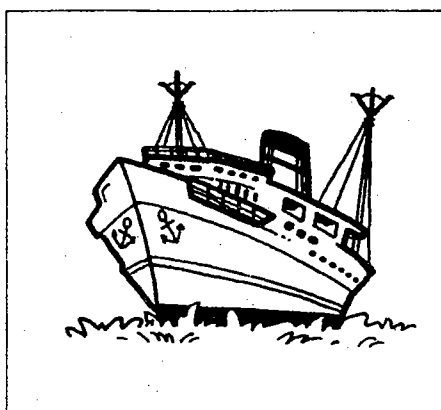
(4)

秋本 俊之

北支の天津港に入港後、上陸組の若者達は三三五と街にくり出し、市街を散歩していると街のあちこちに居る中年のボン引きの婦人から、「シーサン、クニヤン多々有」と声をかけられ、その案内で後をついて行くと、数階建てのアパートに着きます。玄関を入ると、二・三階からどやどやと二〇歳前後の遊女達が出迎えてくれます。

彼女達は愛想よく出迎えてくれて、中には帽子をとったり、ネクタイを引き抜いて二・三階へ駆け上がり、は手を引、張りは後から尻を押して無理やり階上へ押し上げられ、そこで若者達は彼女達の「とりこ」になって終わります。

数時間遊んでの帰船は各自個人行動です。一度帰船の道が分からなくなり、迷い子となって困ったことがあります。道行く人に天津マトウはどちらか聞いても先方さんは「プシンバイ(不明白)」と言って教えてくれません。二・三人に聞いても分



出で、船のスピードが落ちて、終にデッキの上に波が上がり、ローリングの度に海水がサイドからデッキの中に入り、船長もしびれを切らして終に本社宛「北西の風が強く、キバリキバリつ、あるも、その意を得ず」と、弱音を吐いて打電した事もありません。

### 十二月 二中便り から

去る十二月一日、福祉会館において、「教育(いじめ)問題協議会」が二中の今日的状況を受けて、緊急課題として開催されました。

ここでは、PTA会長の挨拶に続いて、校長が経過報告を。そして、各学年からそれぞれ現状報告がなされました。

二中の「今日の状況」とは、四月の始め、他校の卒業生が二中に乱入した後の状況。具体的には、基本的な生活習慣の乱れで、服装の乱れ、名札の付け忘れ、化粧してくる生徒、遅刻する生徒、自転車への口にする生徒、等々です。保護者の責任が問われています。